



山中みさお県議会レポート

若葉区陳情実績No1!!

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

県信用保証協会

ポストコロナの取組みを要望

保証債務残高は過去最高



9月議会の壇上に立つ山中県議

県議会内外で「住まいと暮らしのエキスパート」として知られる千葉市若葉区選出の山中操（やまなか・みさお）県議は、先に閉会した9月定例県議会でも一般質問に登壇。中小企業の経営を支援する立場から、千葉県信用保証協会の活動で、コロナ禍後を見据えた中小企業の経営改善や事業承継、人出不足といった課題について、県及び保証協会の真剣な対応を要望しました。また、電力需給の逼迫から、県庁舎のLED化を提言し、この実現により県庁の電力消費量に大きな効果が見込まれることが明らかになりました。

山中議員 千葉県信用保証協会のコロナ禍での取り組み状況はどうか。
保証協会 が長期化の中で、セーフティネットとしての役割はますます重要となっています。協会の保証承諾額は、令和2年度は実質無利子・無担保の特別資金を多くの方にご利用いただいたことから、過去最高の約1兆1

391億円となりました。令和3年度は5月に特別資金の取り扱いが終了しましたが、それでも約3671億円となっています。また、保証債務残高は、

特別チーム新設で伴走支援を実施へ

山中議員 ポストコロナに向けた信用保証協会の取り組みはどうか。
保証協会 感染症などの影響により、中小企業を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いており、協会では資金繰り支援のほか、経営改善や事業再生等、さまざまな経営課題の解決に向けた支援を行っています。

要望 また、今年度からは、特別資金の返済本格化に対応するため、不安を抱える企業を集中的に支援する特別チームを新設し、訪問による相談や専門家の派遣などを実施しているとのこと。県として、引き続き協会との連携を一層強化し、中小企業に寄り添った伴走支援や、積極的な資金繰り支援を推進してまいります。

要望 中小企業の経営課題は、コロナ禍後を見据えた経営改善や事業の再構築ということはもちろん、経営者の高齢化に伴う事業承継や人出不足といった従前からの課題もあります。引き続き、関係機関と連携しながら、個々の中小企業に寄り添った支援をお願いしたい。

鹿島川河岸の補修

山中議員 私の地元である鹿島川は、近隣の農業用水として利用されるところに、地域の身近な河川として、広く住民に親しまれています。
県土整備部長 鹿島川では、谷当橋から新橋までの延長約2キロの区間で、河岸が浸食されている箇所が

点在しており、浸食の著しい箇所から順次、補修を実施しているところです。

これまでに左右両岸合わせて約700メートルの補修が完了しており、今年度は新橋付近の右岸約70メートルの補修を実施することになっています。

山中議員 鹿島川におけるカミツキガメ対策について、県はどのように取り組んでいるのか。
環境生活部長 県では、カミツキガメが多く生息する印旛沼水系を中心に防除に取り組んでおり、令和3年度は1323頭を捕獲し、このうち鹿島川では172頭を捕獲しています。

要望 鹿島川河岸の維持補修が進むと、人々がカミツキガメに遭遇する可能性も高まると考えます。引き続き、カミツキガメの防除に着実に取り組むとともに、近隣住民が危険な目に遭わないよう、習性や見つけた時の対処法など、周知啓発に関係団体と連携し一層の力を入れていただくよう要望します。

踏切道の拡幅を要望

山中議員 県内における踏切道の拡幅に関する取り組み状況はどうか。
県土整備部長 交通事故防止や交通の円滑化を図るため、改良すべき踏切として県内59カ所について、国から指定されています。このうち、16カ所については踏切道を拡幅することで鉄道事業者と協議が整い、これまでに1カ所が完

要望 千葉市若葉区の中広踏切道のように、歩行者が日常的に危険にさらされている狭い踏切道については、着実に拡幅されるよう、引き続きしっかりと取り組んでいただくことを要望します。

●若葉区や県政へのご相談、ご要望をお聞かせください

山中みさお 県事務所

TEL.043(234)5252

〒264-0024 千葉市若葉区高品町1585-21

山中 県議

電力需給ひっ迫で提言!

県庁舎の照明LED化で 電力の3分の2節電効果

山中議員

今年の夏は、

気温の上昇に伴う冷房使用の増加などで、電力需給の状況が厳しくなったことから、政府は千葉県を含む東京エリア内に「電力需給ひっ迫注意報」を発令しました。

私は、昨年12月議会でも「県庁舎の照明LED化に積極的に取り組むべきではないか」と質問させて頂きました。

が、電力需給はこの冬も大変厳しい状況が予想されています。県庁舎においても照明のLED化を着実に進め、さらなる節電強化に努めていただきたいと考えています。

県庁舎における照明のLED化の進捗状況はどうか。また、それによる節電効果はどうか。

熊谷知事

県庁舎の照明器具は、10年間のリースによりLED照明を導入することとし、7月に一般競争入札を行い、事業者を決定したところです。今後、順次各庁舎への設置作業を行い、令和4年度末までに設置を完了する予定です。

また、これにより県庁舎の照明にかかる年間電力量の3分の2に相当する約145万キロワット時の節電効果が見込まれるところです。

今後とも、節電によるエネルギー使用量の削減のほか、

設備更新時のエネルギー機器の導入など、二酸化炭素排出量の削減に向けた取り組みを行い、地球温暖化対策を進めてまいります。

県には、県庁舎以外にも施設があるので、それぞれの施設でも

要望

県には、県庁舎以外にも施設があるので、それぞれの施設でも

若松高周辺の安全対策

山中議員

県立若松高校と市道若松町14号線を境に、反対側の敷地には、現在物流倉庫が建設中であり、来年には稼働する予定と聞いています。今後予想される交通量の増加を見据えれば、県立若松高校西側の道路への安全対策が必要と考えるが、どうか。

警察本部長

ご指摘の物流倉庫の建設計画は、県警でも承知しており、これまでに千葉市や事業者とも物流倉庫周辺の交通安全対策について協議を行ってきたところ

です。

県庁舎以外の県有施設でも、LED照明の導入に着手に取り組みられるよう要望します。



自席で答弁を聞く山中県議

ろです。

この協議で事業者からは、安全対策として「物流倉庫を利用する搬出入車両が市道若松町14号線を通行することはない」ことや、「通学時間帯の搬出入車両の出入りを控える」ことに加え、「倉庫出入り口に警備員を配置

します。

県警としては、工事期間中及び倉庫稼働開始後の経過を見つつ、市や事業者と連携し、必要な安全対策が講じられるよう努めてまいります。

ごみ処理施設設置基準

山中議員

ごみ処理施設の周辺状況への対応について伺います。市町村が設置するごみ処理施設について、周辺の生活環境にさまざまな影響が考えられるが、県はどのように対応しているのか。

環境生活部長

市町村がごみ処理施設の設置を計画する場合、廃棄物処理法に基づき、騒音や排ガス等による周辺への影響を予め調査し、その結果を告示・縦覧した上で、住民等からの意見を必要に応じて反映させた後、設置届出を作成することに

なっています。

その後、政令市及び中核市を除く市町村は、設置届出を県に提出し、県は内容を審査した上で、「著しい騒音を発生しないこと」や「適切な排ガス処理装置が設けられていること」等の環境保全のための基準に適合しない場合に、変更等の命令を行います。

また、施設が稼働した後、立入検査を定期的に実施し、周辺の生活環境が保全されるよう、施設の維持管理が適切に行われているかなどを確認しています。

利用をまとめた「ちばサイクルルール」の徹底や、危険性を疑似体験させる自転車交通安全教室の開催等により、交通安全意識の向上を図るとともに、「学校安全の手引き」を活用し、車種によつて内輪差や死角が異なることなどを理解し、危険回避のための適切な行動がとれるよう、指導を行っております。

教育委員会は、今後

約半数の生徒が自転車通学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

自転車の安全教育

山中議員

ごみ処理施設周辺地域では、ごみ収集や運搬を行う大型車両が、生活道路を頻繁に通行します。ごみ処理施設周辺に立地する高校では、多くの生徒が自転車を利用して通学していることから、高等学校では交通安全教育をどのように行っているのか。

教育長

県立高校では、約半数の生徒が自転車通学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

学しています。自転車の安全

がんセンターの収支

山中議員

千葉県がんセンターでは、新棟のオープンにあわせ、手術支援ロボットの増設やハイパーサーミアの新規導入など、最新の医療機器が整備されました。

こうした影響もあり、患者数や手術件数は、新棟オープン以降、順調に推移していると聞いています。二方、病院事業会計の令和3年度決算見込みでは、赤字決算が続いています。

がんセンターの令和3年度の収支において、純損失が前年度に比べ9千4百万円増加し、3億6千5百万円となった要因は何か。

病院局長

収益は、検診や通常診療が回復傾向にあり、病床利用率の向上や手術件数の増加を図ったことで、入院及び外来収益が増加し

たほか、新棟オープンに伴い、一般会計からの負担が増加したことなどにより、前年度と比べ、全体で28億7千2百万円増加し、19億7千4千2百万円となりました。

一方、費用は新棟オープンに伴う医療機器の整備や職員の増加により、減価償却費や経費、給与費が増加したことなどから、前年度に比べ全体で29億6千6百万円増加し、20億1億6百万円となりました。

この結果、令和3年度決算見込みでは、がんセンターの収支は3億6千5百万円の純損失となりましたが、今後とも「千葉県立病院改革プラン」に基づき、さらなる収益確保と経費削減に努め、収支の改善を図ってまいります。



9月県議会の本会議場